

<主 な 事 業 の あ ら ま し>

I. 心とからだの健康づくり

「心とからだの健康づくり」をめざして、高齢者の健康ウォーキング事業などの「健康をすすめる運動」の推進をはじめ、スポーツの振興を図り、会員相互の親睦を図ることを目的にスポーツ大会等を開催した。

また、各区老連において介護予防の普及・啓発のための多様な事業が展開され、地域における健康づくり活動の推進に努めた。

1 「健康をすすめる運動」の推進

(1) 健康づくり推進リーダー養成講座

老人クラブの三大運動である「健康・友愛・奉仕」の一つである健康は、クラブ活動の基本となることから、健康づくり推進リーダー養成講座を開催した。

開催日 令和4年10月6日(木)(第1回目)から
令和4年11月22日(火)(第5回目)まで及び
令和5年2月21日(火)(特別講座)を含めて計6回実施

場 所 大阪市立社会福祉センター外

修了者 21名

講座カリキュラム

日時	テーマ	講師	会場
10/6	開講式 「こころと体の健康づくりⅠ」	メンタルフィットネス代表 下口 雄山	大阪市立社会福祉センター外
10/13	「こころと体の健康づくりⅡ」	メンタルフィットネス代表 下口 雄山	
10/26	実技 「介護予防の運動Ⅰ」	大阪府レクリエーション協会	
11/11	実技 「介護予防の運動Ⅱ」	大阪府レクリエーション協会	
11/22	閉講式 「高齢者の健康づくり」	トミオカ体操スクール顧問 播野 幸宏	
2/21	「魅力ある老人クラブ活動を創造するために」	大阪公立大学・追手門学院大学 非常勤講師 大北 規句雄	

(2) 全老連主催「令和4年度高齢者の健康づくり・生活支援セミナー」への参加

令和4年12月2日(金){全社協「灘尾ホール」}

テーマ 健康づくりと地域支え合い活動

参加者 大竹 荘一郎(浪速区老連)

(3) 高齢者の健康ウォーキング事業

地域高齢者の健康づくりに資するとともに、老人クラブに対する理解を広げ、仲間づくりにつなげることをめざし、西区、淀川区、東成区、生野区、東住吉区、西成区の6区老連の協力を得て取り組んだ。

2 スポーツの振興

スポーツを通して会員の健康維持増進を図るとともに、生きがいの高揚と会員相互の親睦交流を深めた。

(1) 第17回大阪市老人クラブ連合会「グラウンド・ゴルフ大会」の開催

(令和4年6月2日(木):大阪城公園 太陽の広場)

各区老連代表 132名

【団体の部】

優勝	生野区老連
準優勝	都島区老連
第三位	東住吉区老連

【個人の部】

優勝	都島区老連	谷口 憲三
準優勝	住之江区老連	櫻井 富美子
第三位	東住吉区老連	久場川 幸男

(2) 第19回大阪市老人クラブ連合会「ペタンク大会」の開催

(令和4年11月18日(金):大阪城公園 太陽の広場)

各区老連代表 22チーム

【成績】

優勝	都島区老連	1 都島高倉老人クラブチーム
準優勝	鶴見区老連	鶴見 B チーム
第三位	淀川区老連	三国連合楽寿会チーム
敢闘賞	中央区老連	御津白仙会チーム
敢闘賞	浪速区老連	なにわ わっしょいチーム

(3) 第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会(ねんりんピックかながわ2022)への参加

スポーツ・文化・福祉など多彩なイベントを通じて、健康づくりの推進、世代間・地域間の協調と交流を図ることを基本理念として、「神奈川に咲かせ長寿のいい笑顔」をテーマに、11月12日(土)～11月15日(火)にかけて、第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会が、全国から67選手団、1万人の選手・監督等の参加を得て、盛大に開催された。大阪市から22種目に118人がエントリーし、熱戦を繰り広げた。

【参加種目と参加人員】

卓球6人、テニス6人、ソフトテニス6人、ソフトボール14人、ゲートボール15人、
 ペタンク3人、ゴルフ2人、マラソン3人、弓道5人、剣道6人、水泳2人、グラウン
 ド・ゴルフ6人、ソフトバレーボール7人、なぎなた4人、ウォークラリー5人、太極
 拳7人、パークゴルフ3人、スポーツウェルネス吹矢6人、サーフィン3人、囲碁3人、
 将棋3人、健康マージャン3人 計 118人

(4) 各区老連における健康づくり活動

- ① グラウンド・ゴルフ、ゲートボール、ペタンク大会等の開催
- ② 健康体操や歩こう会・ハイキング等の実施
- ③ 各区医師会・保健福祉センター等の協力による介護予防、保健栄養改善など健康管理に
 ついての相談会や講習会の開催
- ④ 警察の協力による交通安全についての講習会や街頭指導・キャンペーンの実施

Ⅱ. 高齢者が相互に支援する友愛・ボランティア活動

高齢者相互の心のふれあいを中心とする友愛活動として、虚弱高齢者に対する介護や身の回りの世話などの救援活動、一人暮らし高齢者に対する話し相手、愛の一声運動などが各地域で日常継続的に幅広く展開された。

1 在宅福祉を支える友愛活動の推進

(1) ねたきり高齢者の友愛訪問と百歳長寿者のお祝い訪問

各区の福祉活動部と女性部が中心になって、7～8月にねたきり高齢者の実態調査を行い、新型コロナウイルスの感染状況など諸状況を見ながら、104人を訪問しねたきりの高齢者やその家族を励まし見舞い品を贈った。また、百歳長寿者34人に、お祝い品を渡し長寿を祝った。

(2) 友愛募金活動

令和4年度も女性部を中心とした会員の努力により、各区老連で985,808円に上る募金収入を得て、ねたきり高齢者の友愛訪問や区老連の福祉活動助成費等に充当した。

令和4年度各区老連友愛募金状況

区老連名	金額(円)	区老連名	金額(円)	区老連名	金額(円)	区老連名	金額(円)
北	10,000	大正	28,500	東成	55,258	住吉	10,000
都島	88,700	天王寺	0	生野	50,000	東住吉	50,000
福島	13,200	浪速	35,000	旭	40,000	平野	54,748
此花	52,702	西淀川	31,000	鶴見	56,700	西成	30,000
中央	42,000	淀川	20,000	阿倍野	148,000	合計	985,808
西	70,000	東淀川	70,000	住之江	30,000		

- (3) 全老連主催「令和4年度高齢者の健康づくり・生活支援セミナー」への参加（再掲）
 令和4年12月2日（月）{全社協「灘尾ホール」}
 テーマ 健康づくりと地域支え合い活動
 参加者 大竹 荘一郎（浪速区老連）

2 転入者をあたたかく迎える運動

市内への転入者に対して、地域の老人クラブにおいて友愛活動の一環として実施した。

3 高齢消費者被害防止の取り組み

大阪府警察、大阪市消費者センターと連携し、取り組みをすすめるとともに会長会等で情報提供した。

Ⅲ.「きれいな地球をこどもたちへ」環境への取り組み

1 全国一斉「社会奉仕の日」及び環境美化・リサイクル活動の取り組み

全国運動として制定された9月20日の全国一斉「社会奉仕の日」を中心に、「きれいな地球をこどもたちへ」のスローガンのもと、コロナ禍の中408の単位クラブから5,450人が活動に参加し、地域の環境美化の担い手としての活力を示した。

主な奉仕活動は、①公園・駅周辺・神社・国道沿いの清掃②空きビン・空き缶の回収③花壇の手入れ・木々の剪定④不法看板の撤去⑤公園の遊具の点検⑥施設訪問などであり、当日は、子ども会と一緒に活動したところも多く、和やかに世代間交流が図られた。

なお、このうち清掃奉仕活動をさらに促進するため、ゴミ袋の提供やゴミ回収について大阪市から協力を得た。

令和4年度各区老連「社会奉仕の日」実施状況

(単位:人)

区老連名	参加人員	区老連名	参加人員	区老連名	参加人員	区老連名	参加人員
北	138	大正	56	東成	67	住吉	149
都島	247	天王寺	87	生野	424	東住吉	350
福島	195	浪速	114	旭	325	平野	331
此花	157	西淀川	86	鶴見	255	西成	157
中央	328	淀川	240	阿倍野	318	—	—
西	125	東淀川	941	住之江	360	合計	5,450

IV. 生活と地域を豊かにする楽しいクラブ活動

1 大阪市高齢者福祉大会(大阪市・大老連共催事業)

令和4年9月7日(水)に開催が予定されていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

なお、大会で行っていた優良老人クラブへの大阪市長及び大老連理事長の感謝状並びに永年勤続会長への理事長表彰状の贈呈等については、「優良クラブ・永年勤続会長表彰式」として大阪市役所において実施した。

開催日 令和4年9月7日(水)

会場 大阪市役所 P1 会議室

◇ 表彰者お祝いの辞 大阪市福祉局長
大老連理事長

◇ 表彰	大阪市長感謝状	20年優良老人クラブ	7クラブ
	大老連理事長感謝状	15年優良老人クラブ	4クラブ
	大老連理事長表彰状	20年勤続会長	7名
	〃	15年勤続会長	13名
	〃	10年勤続会長	23名
	〃	5年勤続会長	29名

◇ 被表彰者お礼の辞 受賞者代表

2 大老連供養塔法要

先人の偉業をしのぶとともにご冥福を祈って、第61回大老連供養塔法要を新型コロナウイルス感染拡大防止のため参詣者の人数を制限して厳粛に執り行った。

開催日 令和4年9月29日(木)

場所 高野山奥の院 大老連供養塔前

参加者 70名

法要次第	開式のことば	副理事長
	祭文	理事長
	回向祭文	本王院住職
	読経	本王院住職
	焼香	
	閉式のことば	副理事長

3 高齢者の主張発表

「大老連だより」10月号を大阪市高齢者福祉月間特集号として増ページ発行し、主張発表の全文を紙面掲載して、「高齢者の主張発表」を実施した。

主張発表

83歳を迎えた今
皆さんで健康寿命を延ばそう
79歳、今年大学1年生
健康・友愛・奉仕の精神で
新米会長として思うこと
老人クラブ活動及び会員加入促進について
老人クラブの皆さんは“肝胆相照”の朋友だ
私と老人クラブの関りについて
クラブ活動
新人会長の思うこと

北区老人クラブ連合会	土井池 晃
都島区老人クラブ連合会	土本 修孝
此花区老人クラブ連合会	奥田 洋
中央区老人クラブ連合会	芦田 順子
天王寺区老人クラブ連合会	溝渕 良行
西淀川区老人クラブ連合会	松岡 弘治
東成区老人クラブ連合会	齋川 泰通
旭区老人クラブ連合会	森 昌彌
住之江区老人クラブ連合会	湯浅 昇一
東住吉区老人クラブ連合会	川島 一男

4 友愛募金運動推進第11回大老連カラオケ大会

開催日	令和5年1月31日（火）		
会場	コミ協ひがしなり区民センター 大ホール		
参加者	165名		
出演者	42組 42名		
表彰 その他	優勝、準優勝、第3位の者に賞状と賞品、敢闘賞2名に賞品を授与した。 出演者の寄付と来場者による「友愛募金箱」に集まった友愛募金総額は、 68,685円であった。		
成績	優勝	あなたと歩きたい	大杉 雅康（此花区老連）
	準優勝	藤枝しぐれ	奥島 清嘉（平野区老連）
	第3位	ラーメン一代	池田 秀雄（東淀川区老連）
	敢闘賞	雨の居酒屋	静 豊彦（旭区老連）
	敢闘賞	雪の居酒屋	奥野 豊（大正区老連）

V. はつらつとしたクラブづくり

1. 研修・学習活動の充実

老人クラブリーダーが、社会の変化に対応して新しい技術や知識を身につけるとともに、時代に適応した老人クラブ活動を推進していくため、研修・学習の充実に努めた。

(1) 老人クラブ指導者・女性部指導者合同研修会

開催日 令和5年2月21日（火）

会場 大阪市中央公会堂 大集会室

研修内容 講演

テーマ：魅力ある老人クラブ活動を創造するために

講師：大阪公立大学・追手門学院大学非常勤講師 大北 規句雄

(2) 大老連役員研修会

老人クラブの活性化に向けた取り組み課題などについて各区の現状等を共有し、意見

交換を行うなど各区老連の活動に資するため毎年開催してきたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

(3) 各区女性部長、女性部リーダー研修

平成20年度から女性部活動の活発化とリーダー養成を図るため、毎年女性部長及び女性部リーダーを対象に研修会を開催していたが、昨年引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

(4) リーダー養成講座（出前講座）

幅広い人材育成をめざしたリーダー養成の一環として、健康、介護、友愛、悪質商法、防災などのさまざまな分野のテーマで、各区老連への出前講座としての「リーダー養成講座」を、5区老連の協力を得て実施した。

実施区老連 此花区、天王寺区、西淀川区、鶴見区、住之江区

(5) 近畿ブロック老人クラブリーダー研修会

開催日 令和4年6月30日（木）

会場 大阪府社会福祉会館

参加者 15名

基調報告 「老人クラブの現状と課題」

全国老人クラブ連合会参事 河野敦子氏

講演 「生涯青春、いくつになっても人生楽しもう」

『おもしろ旅企画 ヒラタ屋』代表 平田進也氏

研究討議

第1分科会 フレイルを予防する健康づくり活動の推進

第2分科会 つながりをつなぐ友愛活動の推進

第3分科会 コロナ後に向けた会員増強の取り組み

第4分科会 ICT（情報通信技術）を活用した活動

（座長：井上正裕西淀川区老連会長）

(6) 全老連創立60周年記念全国老人クラブ大会への参加

開催日 令和4年11月8日（火）

会場 国技館（東京都墨田区）

参加者 12名

式典

<厚生労働大臣表彰>

育成功労 野口 一郎 (東住吉区老連会長)

優良老人クラブ 神路第一寿会 (家門昇次会長)

優良老人クラブ連合会 阿倍野区老人クラブ連合会 (森尾隆一会長)

<全老連会長表彰>

育成功労 野川 清美 (大正区老連会長)

育成功労 井上 正裕 (西淀川区老連会長)

優良老人クラブ 西淡路日之出友愛クラブ (福山侃子会長)

アトラクション

「相撲甚句」 全日本相撲甚句協会

記念講演

「老いてこそユーモア」 阿刀田 高 氏

(7) 全国老人クラブ連合会「活動賞」の受賞

地域において先進的な活動に取り組んでいる老人クラブに全老連から「活動賞」が贈られている。令和4年度は「仲間づくり活動」「健康づくり活動」「ボランティア活動」「その他の活動」において大老連から4クラブが受賞した。

西成区	南津守南寿会	(光田精一会長)
淀川区	三津屋老人クラブ三寿会	(竹川 浩会長)
北区	北天満福寿会連合会	(北側 博会長)
旭区	旭区老人クラブ連合会	(矢萩方香会長)

2 各区老連における研修・学習活動

各区老連においても、コロナ禍の厳しい状況にありながらも感染防止対策を徹底しながら、リーダー研修会、事例発表会、老人学級や各種の教養講座、ボランティアスクールの開設など、研修・学習の充実を図った。

VI. クラブ発展の基盤強化

1 会員の加入促進

会員の減少は、老人クラブが抱える重要な課題であり、全国的に会員の減少傾向が進む中で、大老連も例外ではなく、平成16年度末から減少傾向が続いており、令和5年3月末現在29,688人となり、昨年度3月末時点に比べて4,550人の減少になっている。

大老連では、会員の加入促進を一層図っていくために、これまで平成18年度から毎年3月を「会員加入促進強調月間」と定め、大老連機関紙を加入勧奨用として役立てていただいているほか、平成25年度からは新たに、クラブを新設した区老連に対する顕彰制度を創設するなど、会員増強に向けて取り組みを行っている。

また、高齢者の多様なニーズに応えるクラブ活動づくり、魅力あるクラブ活動づくりに加えて、老人クラブの役割、老人クラブ活動の重要性や、老人クラブ入会の魅力等をPRする広報活動を展開するなど活性化にも取り組んでいる。

さらに、平成26年度から全老連の100万人会員増強運動に応じて、大老連老人クラブ「1万人会員増強運動」を展開し、一般高齢者への参加呼びかけ、体験参加、加入促進事業助成として、高齢者にとって身近なテーマについて学ぶ「シルバー教養講座」の開催と、各区老連が実施する会員加入促進事業への助成等を主な内容とする「大老連シルバー元気づくり事業」を継続実施したほか、平成28年度から会員加入促進ポスターの作成等に取り組んできた。

しかし、その後も会員数の減少傾向が続く中、最近においてはコロナ禍も相まって、最も会員数の多かった平成10年に比べて約30%まで減少しており、組織の基盤強化と自主財源の確保についての抜本的で早急な取り組みが求められている。

このため、令和3年4月に「大老連運営改革検討委員会」を設置し、対応策を検討し実施していくとともに、令和3年11月に「大老連会員増強行動計画」を策定し一層の会員増強運動に継続して取り組んでいる。令和4年度には大阪市立歴史博物館、大阪市立科学館、NMB48との連携による会員募集ポスターを作成し、各区老連の地元をはじめ大阪市の関係施設・団体、大阪メトロ地下鉄駅構内やバス車中などへの掲示を行うなど取り組みを進めている。

令和4年度「大老連シルバー元気づくり事業」実施状況

(1) 「シルバー教養講座」の開催

講座内容

区分	日程	テーマ	講師	参加者数(名)
1	6月13日	ハーバリウム入門講座	大老連嘱託職員 浅香容梨子 ほか	28
2	11月21日	手軽に楽しもう —大人のぬり絵—	サクラクレパス認定 大人の塗り絵講師 登内敬子 氏	25
3	3月31日	クラフト体験 [物づくりで コミュニケーション]	日本折紙協会講師 下野千與子 氏 ほか	26

(2) 各区老連が実施する会員加入促進事業への助成

大老連シルバー元気づくり事業「会員加入促進事業への助成事業」実施要領（令和3年4月1日施行）に基づき、各区老連において実施する「広報冊子・パンフレット・ポスターの作成」、「区老連行事・事業等での広報・PR活動」、「区老連行事・事業等への参加呼びかけ」などの事業に助成金を交付した。

2 広報活動

広報活動は、会員相互のコミュニケーションを図ることはもとより、広く社会へのPRを行い、老人クラブに対する理解と協力を得るうえで極めて重要である。

大老連機関紙「大老連だより」は35,000部（令和5年1月現在）を発行。昭和33年8月の創刊以来、大老連事業や老人クラブ活動の啓発、各区の活動状況をはじめ会員の意見や主張、あるいは俳句・短歌・川柳・書道などを紹介して、会員に親しまれており、仲間づくりや生きがいづくりに貢献してきた。

組織内外への広報活動の一層の充実を図るため、平成22年9月からは、新たに「大老連のホームページ」を開設するとともに、平成25年3月からは、老人クラブの役割や老人クラブ入会の魅力等を掲載した広報パンフレットを作成し、区老連行事・事業をはじめとする各種行事・事業などを通じて広く配布して、老人クラブのPRに努めてきた。

令和3年度には、老人クラブのイメージアップを図るとともに、会員の増強運動につなげるため親しみやすい愛称を募集、『みおつくしクラブ大阪』に決定し、令和4年度から各種

PR 媒体等で活用している。

令和4年度には、大阪市立歴史博物館、大阪市立科学館、NMB48との連携による会員募集ポスターを作成し、各区老連の地元をはじめ大阪市の関係施設・団体、大阪メトロ地下鉄駅構内やバス車中などへの掲示を行うなど取り組みを進めている。

また、各区老連において発行する機関紙も年々充実が図られ、組織や活動の活性化、会員相互の情報交換に大いに役立っている

大老連機関紙については、昭和33年8月の創刊以来、会員の皆様方に親しまれ組織の活性化に役立つ機関紙を目指して、種々の改善を図りつつ毎月発行を行ってきたところであるが、広告の減少等により財源の確保が極めて困難な状況に至ったため、令和元年度から名称を「大老連だより」と改め、発行も2カ月に1回とすることとし、さらに、令和4年度からは専門事業者への全面委託方式により年4回の発行を継続している。令和5年1月号で月刊大老連と通算して749号を数える。

3. 他の団体・組織との連携・協力

全国老人クラブ連合会及び近畿老人クラブ連絡協議会等が主催する各種会議にも積極的に出席するほか、行政関係の各種委員会等へも参画し、他の団体・組織との連携・協力を努めた。

(1) 全老連評議員会、全国都道府県指定都市老連代表者会議・事務局長会議への出席

- ① 評議員会 令和4年6月16日(木) [東京都]
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
令和5年3月14日(火) [東京都]
出席者 野口 一郎 大老連理事長
- ② 代表者会議 令和5年2月2日(木) [東京都]
出席者 野口 一郎 大老連理事長
磯野 友彦 大老連事務局長
- ③ 事務局長会議 令和4年7月26日(火) [東京都]
新型コロナウイルス感染拡大防止のためWEB会議に変更
WEB会議出席者 磯野 友彦 大老連事務局長

(2) 近畿老人クラブ連絡協議会(近畿6府県4指定都市)定例会への出席

- 第1回 令和4年4月27日(水) [和歌山県]
出席者 野口 一郎 大老連理事長
磯野 友彦 大老連事務局長
- 第2回 令和4年8月5日(金) [大阪府]
新型コロナウイルス感染防止のため中止
- 第3回 令和5年2月21日(火) [兵庫県]
老人クラブ指導者・女性部指導者合同研修会と日程が重なったため、止むを得ず欠席した

(3) 行政関係の各種委員会等への参画

大阪市等が施策、事業を推進するために設置する各種委員会等に高齢者を代表する組織として協力を求められ、理事長・副理事長等が次の委員会等の委員に就任し、意見・提

言を行った。

(大阪市関係)

- ・ 大阪市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会 (大阪市福祉局)
- ・ 大阪市社会福祉審議会地域福祉専門分科会 (同)
- ・ 大阪市障がい者・高齢者虐待防止連絡会議 (同)
- ・ 大阪市安全なまちづくり推進協議会 (大阪市市民局)
- ・ 大阪市消費者保護審議会 (同)
- ・ おおさか介護サービス相談センター運営委員会 (大阪市社会福祉協議会)

(大阪府関係)

- ・ 大阪府地域医療推進協議会 (大阪府医師会)
- ・ 大阪府交通対策協議会 (大阪府都市整備部)
- ・ オール大阪特殊詐欺撲滅対策会議 (大阪府警察・近畿財務局)
- ・ 大阪府万引き総合対策協議会 (大阪府警察)